



時計台

小林市立永久津小学校 校長通信

令和7年12月15日 第70号 (文責 校長 吉井秀一)

: (0984) 23-3515 E-mail:nagakutukko@miyazaki-c.ed.jp

十一月十二日(水)に小林市指定小中一貫教育の研究公開が永久津小・中学校で行われました。

そのうち小学校では、三年生の国語の授業を見ていただきました。授業の会場は体育館。3年生と川崎先生を市内小学校の先生や先生を目指す学生など約一三〇名の参加者が取り囲んで授業が行われました。

子どもたちは当然緊張もありましたが、いつものように自分の考えをしっかりと発表し、友だちの意見を聞きながら活発に話し合うことができました。参加した先生方から子どもたちに多くのお褒めの言葉をもらいました。小さな学校の少ない先生方による研究と実践ですが、永久津の子どもたちが生き生きと学ぶ様子を見せることができ、公開の成功をみんな喜び合いました。

我が子はどっち？

離れたところに住む2歳になった私の孫。

家の中だけでかわいがられていた孫(男の子)も、保育園生活が始まり、白くてプクプクしていた手足が、いつの間にか日焼けして、たくましく見えるようになりました。

同年齢の子は5名ほど。まだまだ一人一人が気ままに過ごしている年齢ですが、それでも集団生活ですから注意をされることもある。家では「若様」、私ともじいじやばあばの前では「王様」ですから、叱られることは稀です。

そんな彼が、何かの拍子に叱られたそうです。その時、孫は口を真一文字に結んで先生から目をそらし、結構な時間黙り込んでいたらしいのです。先生曰く「あまり怒られた経験がないんでしょね..。」先生としては「ごめんなさい。」を言わせてたかったのでしょうか..。

「我が孫は、素直に謝ることを苦手とする子なのか..。」
「我が孫は、素直に謝ることを苦手とする子なのか..。」
「我が孫は、素直に謝ることを苦手とする子なのか..。」

「我が孫は、素直に謝ることを苦手とする子なのか..。」
「我が孫は、素直に謝ることを苦手とする子なのか..。」
「我が孫は、素直に謝ることを苦手とする子なのか..。」

しかし、街にはこんな様子を見せる子もいます。

○歩道を走り回って遊び、車をヒヤヒヤさせる子。

○店での迷惑な態度を丁寧に指摘されてもあからさまにふてくされる子。

○非を認めず言い訳や責任転嫁で堂々と保身する子。

「まさか自分の孫は、この子らと同じではあるまい。」
「まさか自分の孫は、この子らと同じではあるまい。」

社会的な価値観と私的(主観的)な価値観には、ズレが生じやすいもの。離れて暮らす孫でさえこうなのですから、我が子を「うちの子に限って」

と思うのは当然でしょう。親は熱い思いで日々子育てに奮闘していますが、時には冷静になって、我が子を社会の中の一人として見ることも必要なかもしれません。

年末年始、子どもは家庭に戻ります。そんなとき、少しだけ離れた目線でごらんになってみてはいかがでしょうか。

緊急の連絡先 万が一、年末年始の休業中に子どもの大きなけがや病気による入院、ご家庭に災害などが発生した場合は、市役所の代表電話 23 1111 にご連絡いただくと学校にも情報が届きます。よろしく願いいたします。

学校近況スナップ

「研究公開の様子」

参加した先生方のコメント
(事後アンケートから)

子どもたちが、堂々と自分の意見を
言えていて、これまでの積み重ねが
素晴らしいと思いました。



子どもたちが活発に意見を伝え合う
姿に感心しました。いい大人に育っ
ていこうなと思います。😊



勉強になることがとても多かったです。
自分の学級の子どもたちにも還元
していきたいと思いました！

日頃の子どもたちの様子やお知らせ、
行事の計画などは学校 HP も見てくださいね。
(URL) <https://cms.miyazaki-c.ed.jp/1408/>